

来期 PTA 説明会議事録

校長先生から

昨日はどんちゃかまつりへのたくさんのお手伝いありがとうございます。保護者の方々のエネルギーを感じました。

どんちゃかまつりを負担と感じる保護者の方もいる中、以前のアンケートでは、「子どもが楽しみにしている活動は続けてほしい」という意見が想定以上にありました。

近年、他校でも抽選やポイント制などが問題となっています。また、学校側との面談で家庭の事情、中には診断書をもってこることなどもあり、こうした状況からは脱したいと考えています。

特別委員会が立ち上がったこと、今日ここに集まっていたことが本当に大きな第一歩だと思います。

PTA は任意ではありますが、任意だからと言って割り切ってしまったらやる人がいなくなる、と考える方もいると思います。

しかし子どものため、学校のためと、志あるボランティアをして時間をやりくりしている方もいます。

一方、そういった活動をすることを(活動をしない人がいる中)損をしているという認識、価値観があることも事実です。

子どものために「できる範囲で協力します」という方たちが、少しずつ力を合わせて、また次年度以降の「えだわん」なりの PTA を新しく作っていただけると幸いです。

入会届では「入会しません」に○をした方は、ほとんどないことを心強く感じました。

苦しかったら無理はせず、できる範囲で協力していただき、次年度以降も PTA の何らかのお仕事を引き受けていただければうれしく思います。

世の実情は PTA 改革を行っても、また抽選方式に戻ることもあります。

一方、改革が軌道にのり、できる人で「とりまとめ役」を年ごとで替え活動がスリム化しているところもあります。

それぞれです。えだわんがどうなるか、ぜひみなさんのお力で良い PTA にしていただけたらと思います。

現状 PTA 活動からの改善策(案)について

1、荏田東第一小学校 PTA 組織について

2、市 P、区 P からの脱退

3、運営委員会、委員会の業務の見直し

- ・各委員会業務内容について
- ・役員からとりまとめに変更について

1、荏田東第一小学校 PTA 組織について

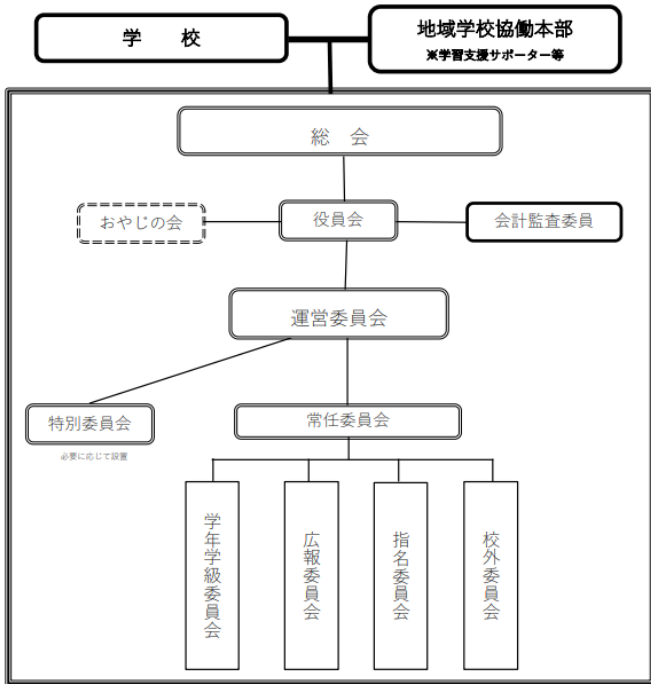
現状本部役員が一番上にたち、学校との渉外的活動をおこない、運営委員会におろす。そしてまた委員におろしていく。委員から意見があるときは逆に運営から役員へもどす・・という、トップダウン方式で活動をおこなっています。この体制が悪いというわけではなく、時代にあわなくなってきたといえます。

特別委員会で考えた来期 PTA 活動の組織図(案)です。見えない業務をなるべく可視化し、誰もが参加しやすい PTA にしていきたいという 思いをこちらの組織図に反映しました。

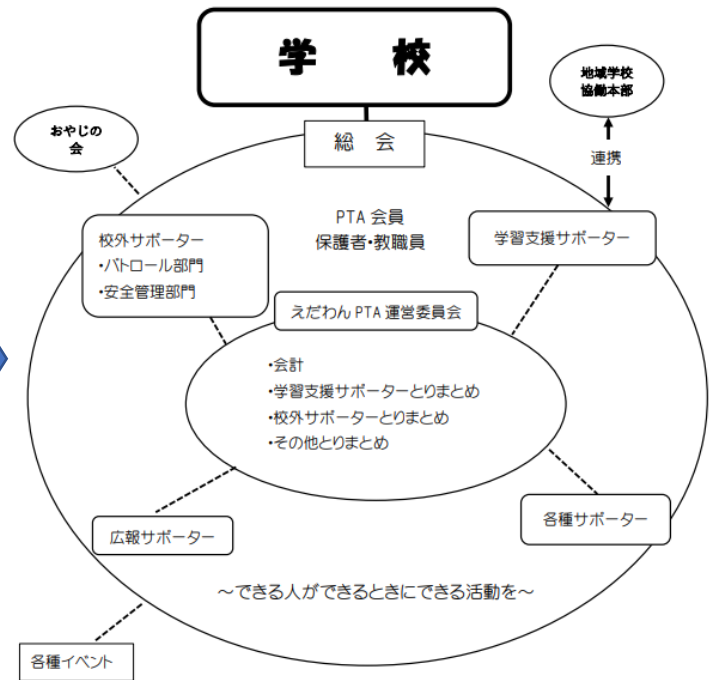
現状 PTA の縦のつながりを減らし横のつながりに変えていくことで、運営委員会など PTA とりまとめの活動がどの保護者からもわかりやすくしたこと、そして逆に学校からの依頼や、とりまとめからすぐにサポーターに連絡ができるように変更しています。

保護者の～できる人ができるときにできる活動を～というのを第一に活動していけたらと思っています。

<現状 PTA 組織図>



<来期以降 PTA 組織図>



2、市 P、区 P からの脱退

荏田東第一小学校 PTA(各学校では単 P とよばれています)がその上に都筑区PTA連絡協議会という区P、そしてさらに上に 横浜市PTA連絡協議会とよばれる市Pが繋がっていきます。当校PTAが任意加入であるように、本来なら区 P 市 P も任意加入のはずですが、これまであたりまえのように自動的に継続加入し、本部役員は市 P 区 P での輪番で様々な活動を全うしてきました。

加入しているメリットとしては、学校・区をまたいだ情報交換や写生大会などの活動、そして子ども総合保険に任意加入できる。デメリットは、任意の子ども総合保険に加入できなくなるなどがありました。

区P・市Pから脱退をしても問題がないと判断し脱退を前提に業務削減の改善を行っています。

ただし、南中学区との学校の連携は、子ども・学校としての成長が必要だと思い、続き継続して情報交換や協力を行っていきたいと思います。

今年中に臨時書面総会にて、区P市Pからの脱退に関する承認をとりたいと思います。

充て職については、関係各所と調整しなるべく減らしていきたいと思っています。

説明会に来た方からのご意見ご質問

区 P、市 P への加入に関しては、お話伺ったところ慣習的なものでしか無い様に感じました。また各定例会への参加等、当事者にはかなりの負担になると思うので脱退してもかまわない様に感じました。

会議に出席しなければいけないというプレッシャー、負担が大きく感じました。役員ではなく情報を共有したい人がいれば会議の参加お願いをしてもいいのではないのでしょうか。

他校の情報も大切ですがまずは**校内を整えることが大切**だと思います。

入会、脱退が自由であれば一度脱退してみてもいいのではないかと思います。

3 運営委員会、委員会の業務の見直し

<役員会・運営委員会について>

抽選で役員選出をすることを廃止します。担当役職・人数を撤廃し、その年度の人数に合わせて活動することを目指します。校外や学習支援のとりまとめも運営委員に入れることで、役員との上下関係がなくなると同時に、調整業務の負担も削減し定例会などの回数を減らします。とりまとめに立候補がいなくなるとどうということになるか・・・という、基本的に PTA が自動解散になってしまうと思います。学習支援サポーターのとりまとめがないと、子どもたちに影響が出てくる可能性もあります。今年度までの見えない業務を極力減らし子どもたちに直結する業務のみ残したいと考えております。

説明会に来た方からのご意見ご質問

とりまとめに手を挙げてもらうことは難しいと思いますが、PTAの活動は大切だと思います。スリム化してもらってはいいですが自分にやりきれるか、また手を挙げて1人だった場合など不安が大きいです。抽選だとやらされている感があります。意向確認の選択肢が同じでも温度差はあると思います。ちょっと一緒に活動してみるなど話し合いながらできたらいいと思います。コロナ禍で同じ学年でも横のつながりがあまりないのでクラス単位なのか？という形でも軽く集まって話し合いをする機会があればいいなと思います。

時間に限りがある中、色々活動していただきありがとうございます。

とりまとめを自分ができるかという自信も勇気もないです。コロナ禍で顔を合わせることもなく不安のほうが大きいので顔合せの機会は必要だと思います。

時間も限られる中、自身の力はびびるものでしかありませんし感謝をしながらもできないというもどかしさを持っている方もいると思います。どのようにしたらうまくやりくりできるのか話し合いができればと思います。

<指名委員>

選出業務がすべてなくなるので指名委員はなくなります。

<広報委員>

せせらぎ学校紹介号は、学校より発行してもらうことになりました。

PTA活動については開かれたPTAを目指していきたいので、多くの保護者が活動内容に興味をもってもらえるように情報を発信し参加しやすい環境を整える必要があります。

希望する方がいれば活動を実施し委員ではなくサポーターとなります。

<校外委員>

委員からサポーターに変更し、とりまとめは運営委員の一員となります。

校外委員は、保護者からは見えない業務がとても多く、そして敬遠される委員の一つでもあります。しかしアンケートにおいて、なくてはいけない業務だ。といわれているのも現状です。

●地区班の管理

在校全家庭の住所の把握、転出入の管理、地区班の振り分け、周知に労力がかかります。まずここでパトロール班をなくし、地区ごとの住所管理をなくします。

説明会に来た方からのご意見ご質問

住所管理は個人情報のため必ず学校で作業を行わなくてはならないのでさらに負担が大きくなりました。

●校外委員を①パトロール部門 ②安全管理部門の二つにグループ分けします。

①パトロール部門は、校外委員管轄の防犯パトロールと学年学級委員の学援隊がこちらに含まれます。

「校外委員管轄の防犯パトロール」

今後シフト組は一切しません。どちらも保護者の自主的な活動に任せます。校外パトロールに関しては、自転車に防犯パトロール中の札をつけるなども検討していきたいと思っています。

新年度はじめや夏休みあけなど、重点的に子どもたちのみまもりが必要となってくる時期には、事前にメール配信をして各自の見守りを高めてもらうよう依頼します。

説明会に来た方からのご意見ご質問

シフト管理、日程調整などハードルが高く感じます。決められた日に呼びかけができるアプリがあるので活用することも方法ではないでしょうか。またえだわん隊でも活用できるのではないかと思います。

地域パトロールでは、地域の方と顔合わせ、お互いの子どもの様子を知る機会になります。だんだん親の目がいき届かなくなる中、地域のみなさんから子どもの様子を知ることできる。地域の目は必要だと思います。密にできたらいいと思います。

校外パトロールは地域の方を知るチャンスだと思います。あらかじめ地区分け(今の地区そのままでも)して事前に日時場所のみを決めておいて来られる人だけでパトロールをする。人数が多く集まった時は何人かに分かれて別のルートのパトロールするなど。

地域とのつながりが大切と思う方、それを面倒と感じる方それぞれなので自由参加にする。形式だけ作っておけば以降も続けていける。日時はメール等(現、学習支援オープンチャットなどを使用。)でお知らせ。

新入生に地区をお知らせする方法として地区班が表記してある地図を渡して自身で確認してもらう。

パトロール班はなぜ毎年メンバーが変更されるのか?

メンバーが変更しないことにより連絡先の交換する必要がなくなり連絡がスムーズだった。

パトロールは形としてあるほうがいいと思うので継続してほしい。

→班長は5年以内でやっていない人になります。班長は原則毎年かわります。卒業される方、入学される方がいるので、人数の変動もあります。毎年変更してほしい人、そのままがいいという人それぞれなので機械的に毎年変更をしている。

「学援隊(モーニング隊・おかえり隊・えだわん隊)」

個人名をいれてのシフト管理から、学年1か月ごとに好きな時に活動ができるよう変更します。保護者が有志で活動することを目指します。

説明会に来た方からのご意見ご質問

えだわん隊のシフトは人数制限があるため行っていましたが一度に大勢来た場合はどうするのか。

またコロナ禍で人数が集まることは大丈夫なのでしょうか。

→学校側としてはいつでも多くの方が来ても問題ありません。一クラスの保護者が一度に全員来るぐらいなら大勢にはなりません。コロナ禍での活動は保護者の任意。ストップしなければいけない状況であれば学校から発信します。

えだわん隊は必要でしょうか? 以前在籍していた学校にはこのような活動はありませんでした。

→えだわん隊の目的は保護者に学校の様子を見てほしいというところから始まっています。義務ではなく有志での活動

を行っていきたいと思っています。

②安全管理部門

「こども110番」

こちらは地域住民の方に対する事務作業が不随しますが、こちらも郵送で対応するなど 業務を変更していきたく思っております。

「スクールゾーン防犯対策協議会」

こちらは、都筑区の地域振興課に相談しアドバイスをもらい、当校では縮小化を目指しています。要望書の省略可や、対面から書面の変更、開催頻度なども検討しております。また保護者のみの仕事としてではなく、総合などで子どもたちと一緒にスクールゾーンについて検討するクラスなどができたらとも思います。

●資源回収

PTA会費の収入源ともなり、地域の方にもご協力いただいているものとなります。校外委員が毎週火曜日に見回りを行ってききましたが、近隣に住んでいる保護者を中心に確認をしていきたく思います。また集積所に簡単な手順などを記載し、保護者・近隣住民などその場から連絡できるようにしていきます。

<学年学級委員>

「どんちゃかまつり」

いろいろな制限のある中、授業内でどんちゃかまつりを行うことは、限界があると感じました。どんちゃかまつりなどのイベントは役員・学年学級委員関係なく、やりたい！と思った有志で、土日など授業時間外で企画実行できるように企画書を学校HPに掲載してもらい、そちらを使用し学校に提出。許可がおりたら実施可能とすることに変更します。

説明会に来た方からのご意見ご質問

どんちゃかまつりを土日開催の場合、学校はノータッチになるのでしょうか。

→教員も保護者と同様で強要はできませんが無理のない程度で声掛けはします。ただし学校施設を利用するので制限はあります。学校は子どもと職員だけのものではなく地域のもでもありそれを支えているのは保護者であり、職員も一員である認識です。

自由参加にすることで参加し辛い子どもも出てくるのではないのでしょうか。

→参加したい子、おまつりが嫌いな子感じ方はそれぞれであって難しいです。

「学援隊」

校外委員のパトロール担当に業務移管。

「学習支援サポーター」

学年学級委員の仕事はだいたいなくなるので、代わりにサポーターを募りたいと思っています。

現状、地域学校協働本部がとりまとめサポーター調整などを行い、地域学校協働本部メンバーが主となってサポーター活動を行ってきました。

地域学校協働本部メンバーが卒業していき、そのメンバーが上にいることにより、保護者が自分たちの子どもや学校のために学習支援を行っていくという本来の道から外れていってしまっています。また保護者とは違う人たちが上にいることにより、お任せすればいいという思いや、本当は参加したいが行きづらいという思いもあるようです。地域学校協働本

部の本来の仕事は、子どもたちが学習のときに近隣地域にでるとき学校と地域との間の調整とりまとめが仕事になります。次年度以降はそのような地域との調整役はそのまま地域学校協働本部で行い、子どもたちの安全を守るため大人の目が複数必要な学習支援は保護者の方によるサポート体制を作っていきたいと思います。支援が少なければ子どもたちの安全が守れないということで授業内容がどんどん縮小になっていくことも考えられます。こちらにはできるだけ多くの保護者が積極的に参加できるような声掛けが必要になってくると思います。

説明会に来た方からのご意見ご質問

学習支援サポーターの負担が大きくなりそうなのが心配です。「とりまとめ」だけではなく、毎回サポーターとして授業に参加しなければならなくなるのでは？

→学習支援の取りまとめについては地域学校協働本部のシステムをそのまま移行予定で、はじめから考える必要はありません。とりまとめになっても、全活動に参加する必要はありません。～できる時にできる活動～は、とりまとめの方も一緒です。

子どもたちのために協力できることはしていきたいと思いますが、役員さんの様に任期がないと、ずっと同じ人達に負担がかかってしまうのではないかと少し不安に思います。

とりまとめ役に毎年手を挙げる人が居るのだろうか…というのが心配です。

→継続年数も活動する方の意思に沿ってとなります。サポートの輪が広がりだれでも取りまとめができるようになればと思いますが、万が一とりまとめがいなくなってもPTA活動中止に移行できるよう体制を整えます。

メール配信について

年度初めに各クラス登録する際にPTA加入の有無を知らせてもらえればPTAからのメールを配信せずに済むのでは。

→次年度加入のきっかけになるかもしれないのであえて非加入の方にもメールを配信して活動内容も知ってもらいたいと考えています。総会開催時のPTA会員から承認をとる場合は問題があるのでそこは検討。